

学部と博士前期課程とのカリキュラム接続を 円滑化する仕組み開発事業 - インストラクショナルデザインを視座に



八島 雄士（観光学部教務委員長、サポートオフィス長）

永井 隼人（GP運営部会長）

柴本 百合香（観光実践教育サポートオフィス）

背景

- ・ 訪日旅行者急増に伴い、学部新卒就職学生が大半で、博士前期課程への進学者が学外や留学生が中心となってきた（2015年度～2018年度）。
- ・ 博士前期課程と学士課程との接続を円滑化するための方策の1つとして、Global Program(GP)のリニューアルを検討し（2019年度～2020年度）、GP2.0を導入した（2021年度）。2022年度がGP2.0の2年目にあたる。
- ・ 中期計画の記載以外の計画として、カリキュラム改訂が予定されている。

事業目標

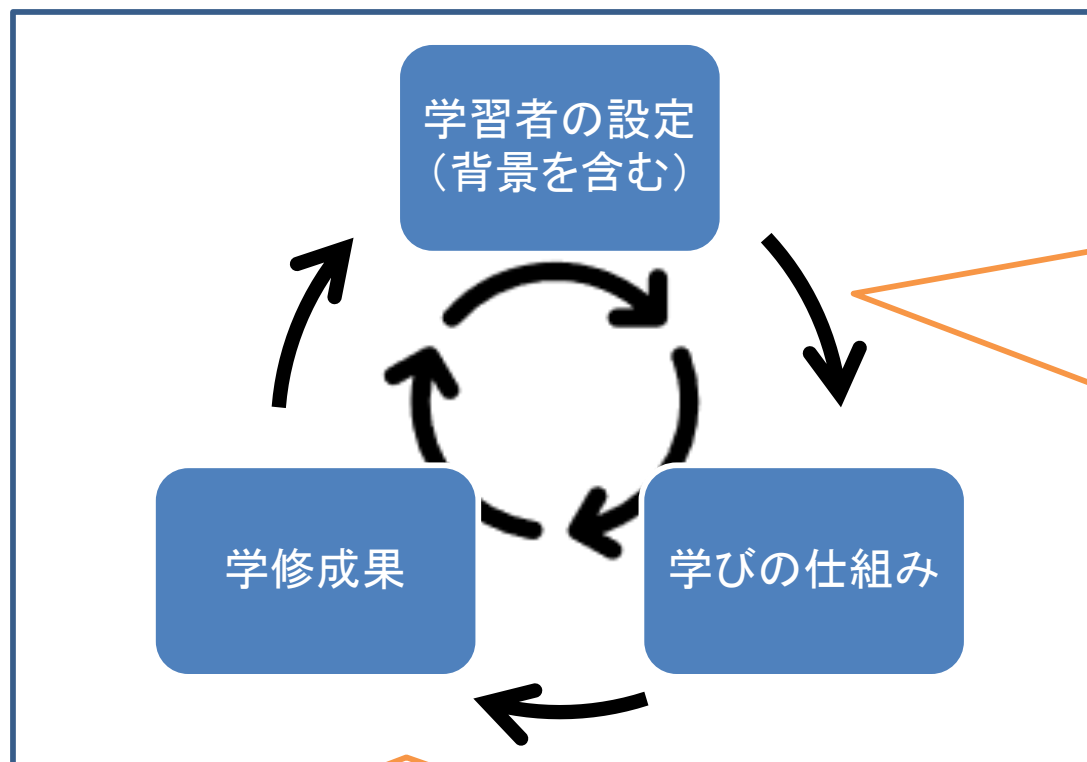
- ・ 感と経験で乗り切ってきたカリキュラム改訂
→インストラクショナルデザイン(ID)の理論を視座に企画・実施
- ・ 2024年度3月卒業生（2020年度入学生、14期生）がGP最後の対象学年のため、GPの成果検証を進める
- ・ GP2.0も同様にIDの理論を視座に、成果検証プロセスをPDCAサイクルに予め組み込む

成果

- ・ 教育（観光教育）の質向上に向けた課題把握と解決の方向性を共有する
- ・ 実施に関わる関係者のコミュニケーション円滑化（説明の形式知化）
- ・ 教育の質保証に資する他大学の取り組みを共有する

2.考え方

IDの考え方を参考に、IDのプロセスを観光学部の実際の教育に合わせて修正：「学習者設定→仕組み開発→成果検証」のサイクルで、GPの設計プロセスを整理する



サイクルとしてみることで、
時系列的な推移を検討できる

構造のみならず、「活動」や「要素」に分けて見る
ことでより深い考察が可能となる。

3. Global Program(GP)の傾向分析

表1 Global Program(GP)をめぐる動向
(出所) 和歌山大学観光学部(2023a)、和歌山大学(2020)から
筆者が一部を抽出し作成

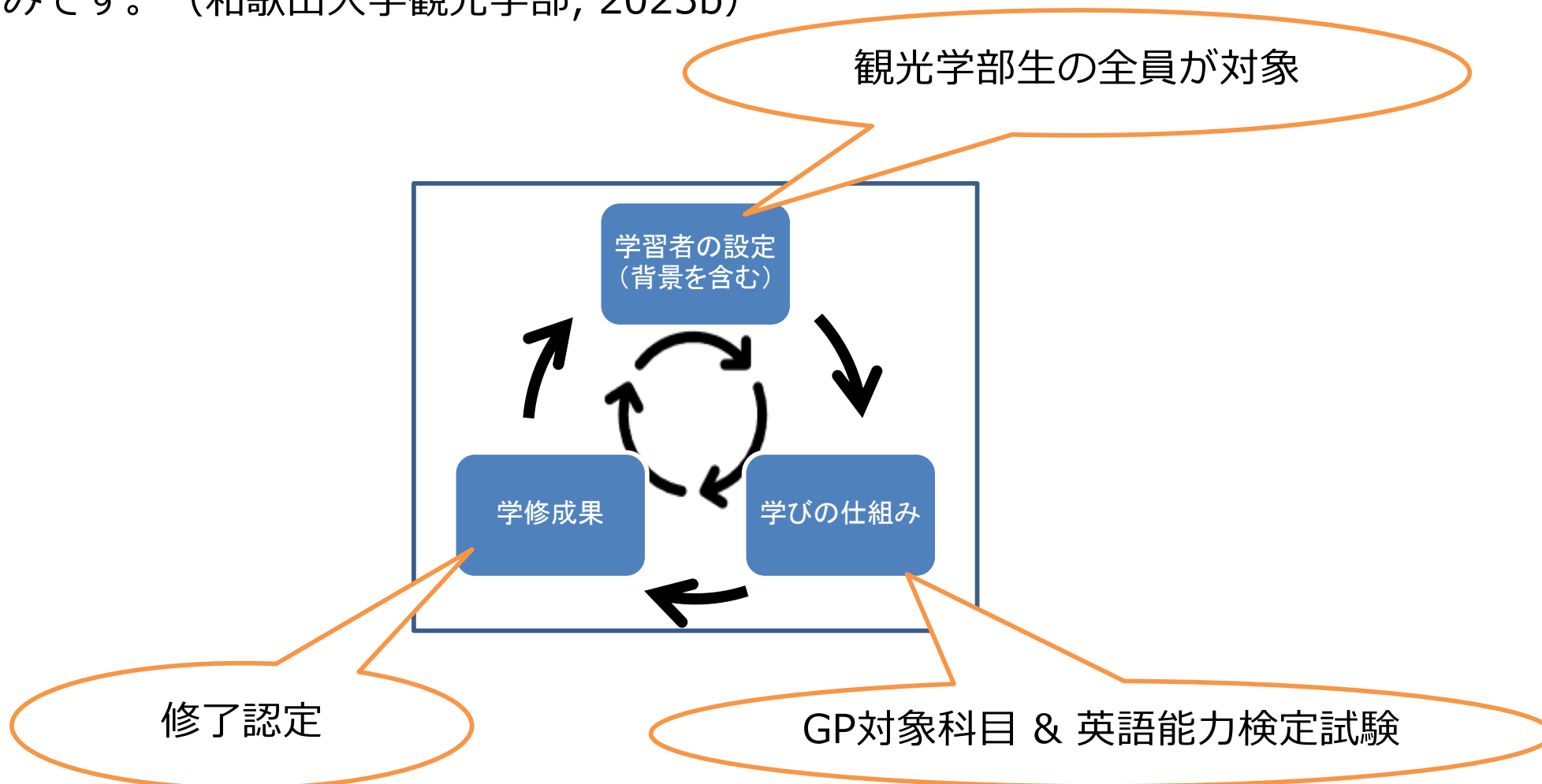
| | |
|-------|--|
| 2014年 | 大学院観光学研究科博士後期課程開設, 修士課程を博士前期課程に名称変更。 |
| 2015年 | 訪日外国人旅行者(インバウンド)が1974万人、出国日本人(アウトバウンド)が1621万人となり、はじめてインバウンドが上回った。 |
| 2016年 | 国際観光学研究センター(CTR:Center for Tourism Research)が開設 2学科5コース制から1学科3コース制に再編成(定員を120名に増員)。 <u>グローバル・プログラム(GP)を導入。TedQual認証に向け着手。</u> 観光教育研究センターを観光実践教育サポートオフィスにリニューアル。 |
| 2017年 | <u>観光学部がUNWTO.TedQual認証を取得。</u> その後、 |
| 2020年 | <u>博士前期課程のTedQual認証を取得。観光学部のTedQual認証を更新。</u> 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に対応した「緊急事態宣言」の 発出による移動制限の開始。 和歌山大学における登学制限に対応したオンライン授業が開始。 |
| 2021年 | <u>Global ProgramをリニューアルしたGP 2.0がスタート。</u> |

和歌山大学(2020).「【周知】改正新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言の発出への対応について」.

<https://www.wakayama-u.ac.jp/news/2020040800109/>

和歌山大学観光学部(2023a).「学部の概要・沿革」. https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/faculty/faculty_overview/index.html

グローバル・プログラムは、英語で提供される専門教育科目（GP対象科目）を一定数履修し、英語能力検定試験の基準を満たせば、修了認定を受けられる仕組みです。（和歌山大学観光学部, 2023b）



どのタイプを目指す？ GP対象科目の単位取得基準*

| Aレベル | GP対象科目単位取得の基準 |
|----------|---------------|
| Rank 100 | 80単位 |
| Rank 80 | 64単位 |
| Rank 70 | 56単位 |
| Rank 60 | 48単位 |

*別途TOEIC/TOEFLなど英語能力検定試験の基準を設けています。

これまでの認定実績（2016～2018年度入学、10～12期生の累計）：
Rank 100 1名、Rank 80 4名、Rank 70 1名、Rank 60 12名、合計 18名

※なお、各RankにBレベル（単位数のみで認定）が設けられており、累計でRank80 1名、Rank 60 4名が認定されている

※留学等で卒業を延期している学生、Rank 100が1名、Rank 80が1名、在籍中

(1) 合格者GPAが高い科目（3.20以上）

- ・ 観光学部2019～2022年度前期の成績評価検証では、平均値で2.60～2.75、中央値で2.57～2.72の幅がある。
- ・ 10名以上の演習科目（基礎演習、プロジェクト演習、日本文化演習）の多くで授業目的が明確であるため、合格者GPAが高い傾向にある。
- ・ 日本語科目、英語科目の区別なく、授業方法として、グループワークやフィールド調査、ディスカッションなどアクティブラーニングの要素が含まれていることが特徴となり、合格者GPAの数値が高い傾向がある。

(2) 合格者GPAが低い科目（2.25以下）

- ・ 観光学部2019～2022年度前期の成績評価検証では、平均値で1.90以下で抽出するが、英語科目では平均値で2.00以下ではなく、2.25以下まで引き上げて抽出した。
- ・ 成績評価検証で平均値1.90以下となる科目の多くが、中間レポートと最終レポートでの評価としている。そのため、レポート提出を怠った場合に、低い評価となる。個別に取り上げる英語科目でも同様の評価方法であった。

(3) F評価が多い科目（10%超）

- ・ 観光学部2019～2022年度前期の成績評価検証では、20%以上の科目を取り上げるが、GP科目では抽出できる科目を増やすために、10%以上と設定した。
- ・ 20%以上の科目は、2020年度で目立つが、その後は10%を少し上回る程度で落ち着いてきている。
- ・ GP開設当初に、受講学生の英語力不足が担当教員からコメントされていたため、科目ごとに必要な英語力を提示することや、仮登録から本登録に向けての仮登録者の全員面談を使って、英語力を向上させる方法などを提示したことで、学生が適性を考えて選択した可能性がある。
- ・ コロナ禍で、授業開講時期が変更になったり、レポート作成への対応が難しかった学生が増えた可能性がある。

多くみられた意見の要約：

観光学の専門科目を英語で学ぶ、また英語で卒業研究・論文を執筆するために必要な英語力とアカデミックスキル（ライティング力、研究の基礎知識）が圧倒的に不足している。

グローバルに活躍できる人として必要な国際知識や観光学の基礎を英語学べる科目を提供するべきである。

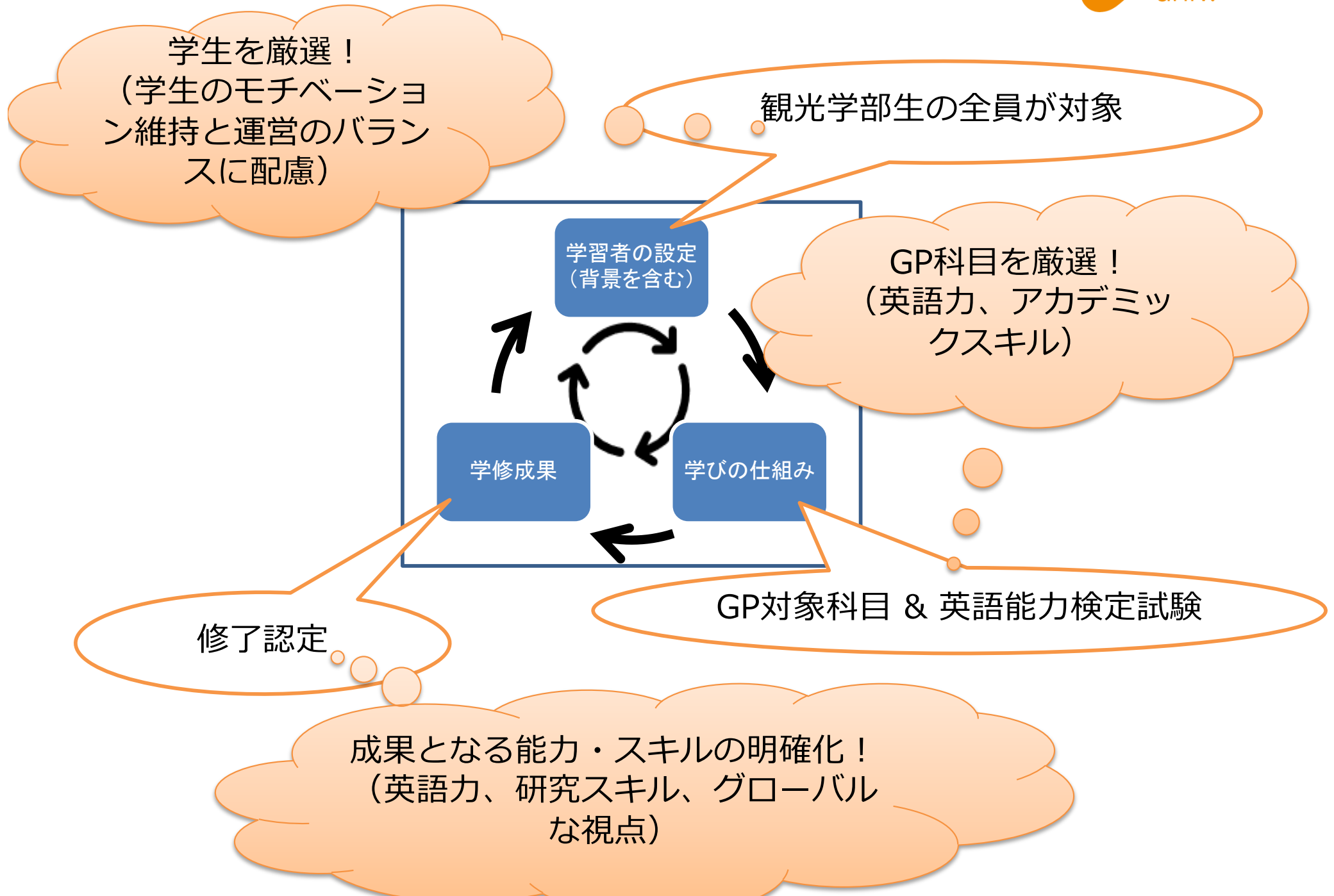
GP でがんばりたいと思う気持ちと、実際に学びを進める上で必要なスキルには乖離があるので、システマティックな仕組みを作り、学ぶために必要なスキルを基準として学生に示さなければ、学生は自分の現在地が認識し辛い。

英語力のスキル、研究スキル、グローバルな視点が重要。 語学スキルを磨きたいことと、学術的モチベーションが高いこと、双方を両立しなければ GP 学生としてはやっていけないので、運営する側もある程度リスクを承知で学生を厳選しなければ GP 運営が難しい

入学時から卒業まで、学生にチャレンジをしているという実感を持たせることが必要。

博士前期課程を目指すことがイメージできるように、学部生がより一層学術的なことに触れる環境づくりが必要。

GP 対象科目として提供している専門科目のラインナップについても、精査する必要がある。



(1) GP2.0の特色（和歌山大学観光学部, 2023c）

- ・ 英語を使って「観光」を学び、グローバルな視点で課題解決に導くための知識・思考を磨く
- ・ 特徴、仕組み、構成を体系的に整理

(2) 博士前期課程のカリキュラムリニューアル（和歌山大学観光学研究科, 2023a; 2023b; 2023c） 「研究理論科目、研究技能科目、特論科目、専門研究」

(3) 今後の課題

- ・ 環境づくりの課題
- ・ データ収集と分析をIDを視座にデザインすること～暗黙知から形式知の運営へ
- ・ すでに見えている課題～キャパシティに見合う運営方法の模索

和歌山大学観光学部(2023c).「Global Program(GP 2.0)」。 <https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/global-study/gp.html>

和歌山大学観光学研究科(2023a).「博士前期課程(修士)カリキュラム・ポリシー(2023年4月以降の入学生対象)」。 https://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/graduate_college/graduate_curriculum/graduate_curriculum_m/g_curri_policy_m2023.html

和歌山大学観光学研究科(2023b).「カリキュラム・ツリー 博士前期課程(修士)(2023年4月以降の入学生対象)」。 https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00264327/treeGMC2023.pdf

和歌山大学観光学研究科(2023c).「コア・カリキュラム 科目一覧表(2023年4月以降の入学生対象)」。 https://www.wakayama-u.ac.jp/_files/00264242/core_master2023.pdf